



かしま友愛

第24号

2013年1月1日

社会福祉法人
加島友愛会事務局
大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601



第2期

『レインボープラン』にむけて

「トレフル」の工事も順調に進む

新年明けまして

おめでとうございます。

皆様にはつつがなく新春をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

旧年は、当法人『レインボープラン』の第一期の課題であります介護付き有料老人ホーム・小規模多機能型居宅介護事業リユミエール加島のオープン、障害者グループホーム・ホームヘルプ合同事務所・地域交流スペース『トレフル』の着工、各施設事業所ともに大過なく順調に事業展開できました。

サービスマスターの皆様、地域の皆様、職員と社会福祉事業の仲間の皆様のご支援、ご協力の賜ものと感謝申し上げます。

世界の政治指導者が変わり、日本の政治も大きく変化しました。日本の経

理事長 平田 純博

済は、リーマンショックからの回復が東北大地震・福島第一原発事故により立ち遅れ、デフレからも脱出できず、国民の生活は厳しさを増しています。

新しい年が国民にとって、特に震災と原発事故にみまわれた東北三県住民にとって明るい展望が見えて来るよう願うものです。

さて、加島友愛会としては、『レインボープラン』第一期の残り課題・障害者就労継続A型（雇用型）および福祉有償連送事業をより具体的な形にすること、リユミエール加島の早期の収支健全化を図ること、同時に第二期の事業計画策定を図ることを二〇一三年にめざします。

第二期事業計画の重要なことは、ひとつには高齢・障害以外の福祉・医療・教育など新しい分野に挑戦すること、加島・大阪にこだわることなく他府県での事業展開、海外交流促進による国際連帯も視野に入れ、その礎を築くという視点を持つことだと考えています。

二〇一三年も皆様の変わらぬご支援ご協力を重ねてお願いしまして、新年のご挨拶といたします。

コラム

かしまの光

日本では毎年一九〇〇万トンも食品廃棄物が破棄され、そのうち食べられるのに関わらず破棄される「食品ロス」が五〇〇万トンから九〇〇万トンも出されている▼中身は何の問題もないにもかかわらず、パッケージの印刷ミスや容器のキズだけで破棄される食品や、三分のルールに基づいて賞味期限を三ヶ月も残しながら期限切れとなる食品などだ▼一方で経済的な問題や家庭的な問題等で十分な食事ができない人たちが数多く存在するという現実もある▼破棄するに費用もかかることを考えれば、企業にとっても「モッタイナイ」ことこの上ない▼破棄される食品を引き取り、必要とされているところに提供する「フードバンク」という活動が全国各地で始まった。私たちも世界中の合言葉としてある「MOTTAINAI（モッタイナイ）」を口ごころから意識したいものだ。

私にとって 仕事のやりがいとは③

特集

加島友愛会の各施設の若手職員に原稿を依頼しました。題して「私にとって仕事のやりがいとは」。一人ひとりの思いが表れています。



アンダンテ加島
岡田 美枝

私にとって仕事のやりがいとは、利用者の方がいきいきと生活を送っている姿や笑顔が見られた時です。

アンダンテ加島は多くの知的障害のある方が入所されており、言葉での表現が苦手な方、言葉で表現出来てもなかなか自分の思いを伝えられない方、言葉をまったく話せない方と様々な方がいます。

私は、日々利用者の方とのコミュニケーションを大切にするようにしています。言葉が話せない方には、余暇活動等好きな活動を一緒に取り組み、一緒に笑い、楽しい生活を送れるように心がけています。また、言葉が話せても自分の思いをなかなか表現出来ない方には、時間をかけてゆっくりと悩みを聞き取り、一緒に解決していく様に心がけています。そのことにより利用者の方が喜び、いきいきとした表情を見せた時は、とてもうれしくなります。

これからも思いやりを持って利用者の方に接していき、喜んでもらえるような、生活の場を作っていきたいです。



加寿苑
羽田 皓平

加寿苑の特養部門で勤務している羽田です。この仕事を始めてから3年になります。

私にとっての仕事のやりがいとは、入所者の皆さんの喜ぶ姿です。皆さんがより良く生活できるようなケアにあたりますが、すべてのケアが正解ではなく、時には失敗することもあります。しかし、その結果をもとにもう一度ニーズと取り組みを再検討した際に、より良いケアが生まれます。その取り組みを行った後に「ありがとう」や「兄ちゃんがおってくれて良かったわあ」など感謝の言葉を聞けると、この仕事をやっていて良かったと思います。

また、ケアや取り組みは私一人ではできず、先輩・後輩から多くのことを学びます。時には意見が合わず、嫌になることもありますが、最終的には「入所者のために」とみんなで一つになることができます。

今、自分が楽しくやりがいを持って働けているのも、周りで助けてくれている先輩・後輩のおかげだと思います。

これからもやりがいを持って仕事できるよう、入所者の皆さんのためのケアを行っていきます。



リュミエール加島
高津 充雄

私にとっての仕事のやりがいとは、入居者の皆さんの笑顔です。笑顔といっても私に向けられるものではなく、生活の中でふとした時に出る笑顔です。

私の職場であるリュミエール加島は介護付き有料老人ホームです。全員ではありませんが、ほとんどが介護を必要とする方です。介護をされるというのは、本人にとってはとても大きなストレスになります。本来自分でやったことを他人にしてもらうというのは、簡単に受け入れられるものではないと思います。そんな中で、その人が望んだ介護をすることができ、自然と笑顔が見られたときには、「自分がその人にとって役に立っているのだ」と実感することができます。

皆さんの素敵な笑顔がたくさん生まれるような関わり方を、これからもしていけるといいなと思っています。





加島希望の家
藤本 真生

私は、重度な知的障害をお持ちの方々の支援をさせていただいています。

ほとんどの方が、ご自身の思いを伝える事を苦手とされています。そのため、一人ひとりの得意な部分を引き出しながら、うまく伝える、伝わるツールを探し、日常生活に応用していけるよう日々、利用者さんと共に模索しています。

日々、工夫と改善の毎日ですが、「こういう風にすれば伝わるんだ」という発見があったときや、思いを上手く伝えることができた時の利用者さんの笑顔を近くで見て、一緒に共感出来たときは、それまでの苦労を凌駕する喜びを感じます。

「伝える・伝わる」…私たちの当たり前の世界からは、見つけられない視点や物事を捉える力、新たな気づきを得ながら、自分自身も成長させていただけるところは、この仕事の魅力であり、やりがいであると感じています。



むつみ
森藤 典子

「今日はどんな顔して来はるかなあ」…自宅やグループホームから利用者さんは通ってこられます。眠たい顔、ニヤニヤ顔、険しい顔…いろんな表情がありますが、やはり笑顔がいちばん！利用者さんの笑顔をみると、こちらも笑顔になります。一緒に笑い合えることが、この仕事のいちばんの魅力だと思います。

ご自分ではなかなか不調なども訴えることが難しい方も多いので、じっくり様子観察して、小さなことでも発見する。食事量や水分量、体調面等、ご家族との連絡も大切です。

日中の活動では、このスペースでこのメンバーで何をしたらよいか、個別には？よりよい内容はないか日々模索しています。利用者さん本人にとって（そして利用者さんを支える家族の方にとっても）安心できる場所となっていますように。

さてさて、自分は「いい顔」しているかなあ？いい顔して、いいケアをしたい!!

時には自分自身の「個別支援計画」をたてて見直してみたいと思います。

二〇一二年の加島友愛会

写真で見る



新人研修 【3/21】

◀「報・連・相」の大切さを学ぶ



リュミエール加島竣工式 【3/30】



田植え 【5/16】

▶十月には稲刈り交流も実施



理事会・評議員会 【5/27】

▶昨年度の事業報告、決算報告などを確認



障害者センター夕涼み会 【7/28】



第3回現場実践交流会 【8/11】

◀各施設の取り組みを報告

加寿苑

日帰り旅行で神戸へ



加寿苑恒例の秋の日帰り旅行、今回は十月二十七日と十一月十日に神戸花鳥園・南京町のコースを楽しんでいただきました。

花鳥園では『鳥とのふれあいコーナー』で近くにきた鳥に手を伸ばし、楽しそうにされている入所者の皆さんの姿を見ることができました。また、普段、直接見ないフクロウやペンギンを興味津々に見つめ、笑顔がこぼれていたのを見て、「一緒に行くことができて本当に良かったな」と職員一同感じました。



南京町では、豚まんやアイスクリーム、饅頭、コロケなど食べ歩きを楽しみ、皆さん大変満足されていました。このような団体での外出はなかなかできませんが、「いきいきプラン」と称した個別外出は月に何回か企画しています。お寿司やお好み焼きを食べられたりお墓参りに行かれたりと、できるだけ多くの皆さんが外出できるよう職員の勤務を調整しています。また施設内での料理活動でも、タコ焼きやヤキソバなどに挑戦しました。入所者・職員そして時には家族も交えて、ワイワイガヤガヤと楽しんでいます。

ブログを開設

リュミエール加島では、昨年7月からスタッフがブログの更新を重ねています。その中のいくつかの記事を紹介します。



【ウクレレのミニコンサート】(11月4日)

今日は、ウクレレの弾き語りの先生に来ていただいて、ミニコンサートを開きました。

ウクレレの演奏を初めて生で聴いたのですが、ほんわかした気持ちになるような、独特な感じがしました。

「上を向いて歩こう」「手のひらを太陽に」「愛燦燦(あいさんさん)」など、定番の曲で盛り上がりました♪

手拍子、ハミング、手を振るなど、皆さんそれぞれの楽しみ方で聞き入っておられました。

さらに、入居者様のリクエストで何曲か追加で演奏していただき大好評に終わりました。

【玄関先で町会のもちつき】(12月2日)

加島浜ノ町会の町会長さんから「公園でもちつきを計画しているのだが雨を心配している」とお聞きし、「リュミエール加島の玄関先であれば雨でもできますよ」と提案したところ、とんとん拍子に話がまとまり実施することに。

当日は、朝早くから町会の皆さんが準備にあたられ、もちつきが始まりました。子どもたちも元気に杵をふりあげ、次々とつきあがります。リュミエールの入居者・利用者の皆さんも玄関に集まってこられて、中には杵を手に腕を振るわれる方、火の近くで暖を取られる方もおられ、楽しんでいただきました。



10月31日、日帰り旅行にってきました。今回の行き先は「富田林市農業公園サーバーファーム」です。

当日は、希望の家の前に大きなバスが2台とまっでいて、皆さん気分はすっかり旅行モードにはいり、目を輝かせて乗車されていきます。

天気予報では少し冷えるとのことでしたが、天気もよく日差しにあたる場所では上着がいらぬほどでした。

サーバーファームは広大な敷地の中に畑や花壇がたくさんあり、ゆったりした雰囲気のある場所です。

今回のメインは「ミカン狩り」と「バーベキュー」です。「ミカン狩り」では係の方からミカンの取り方と一人10個と説明をうけたので、皆さんなるべく大きな物を捜しながらミカン狩りをおこないました。収穫の後は早速試食。今年はあまり大きなものができていないようですが、甘くておいしいミカンで皆さん美味しそうに食べていました。

昼食のバーベキューでは、牛、豚、エビやホタテ、野菜とこちらも美味しそうなものばかり。皆さんバーベキュー慣れしてきたようであちらこちらのテーブルで自分で積極的に網に乗せる人や、できあがりか気になってすぐにさわってしまう人、「焦げてる!」「美味しい!」と色々なこえが聞こえてきます。さすがに農業公園だけあって、肉も野菜も新鮮で量も沢山の満腹になりました。

食後の楽しみは「お土産」と「ティータイム」です。店内にはいると早速ご家族や自分へのお土産を手にとられています。外ではソフトクリームを片手にベンチでのんびりと日向ぼっこをされていたり、ゆっくりした時間を過ごせました。来年も皆さんに楽しんでもらえるような、旅行にしたいと思います。

ミカン狩りとバーベキューに



加島希望の家

稲刈りに行ってきました



十月十四日毎年恒例の田植えに続き、稲刈りに行ってきました。当日は快晴、稲刈り日和となりました。

各自、着替えを済ませ、準備万端でいざ田んぼへ。田んぼでは見事に穂をつけた稲が風に揺られて私たちを出迎えてくれているようでした。

毎年恒例とあって、慣れた手つきで稲を刈る姿や、教えてもらいながら慎重に刈る姿の利用者の皆さん。田んぼ一面に実った稲に真剣な表情で取り組んでいました。

隣の畑では、これも田植えで苗付けした、さつまいもの芋掘りです。大きく実ったさつまいもを掘るのは一苦労。掘っても、掘っても抜けないさつまいもに、みんな一生懸命に挑んでいました。

現地の農協の方の手伝いもあり、持ちきれないほどの芋を掘りおこすと、自慢げに写真を撮ってとカメラに向かって大満足の表情でした。

稲刈りが終わると、次は楽しみの昼食会です。焼きそばにうどん、田菜におもちつきも行われ、どれを食べようか迷うほどで、たくさんの方に歓迎していただいているんだなと感じました。どれも美味しく、皆お腹いっぱいいただきました。

昼食の後は抽選会も行なわれ、お味噌や漬物、お米が当たるとのことです。みな真剣に耳を傾けていました。

一日通して、様々な体験をすることができ、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

アンダンテ加島

新居に移って



まだ猛暑日の続く九月初旬、ケアホーム「チューリップ」「セツシヨンは建物の老朽化による取り壊しのため、ケアホーム「うぐいす」「ひのき」は消防法の改正のために、これまでの市営住宅が使用できなくなり、心機一転新しい住居へ引越しすることになりました。

引越し先は同じく市営住宅ですが、以前とは違いエレベーターが設置されています。年々入居者の高齢化によるバリアフリー問題が深刻になってきているなか、これほしいへんありがたい設備で、入居者の方からも「移動が楽になったね」と好評です。

入居者の方の中には、環境ががらりと変わったことで生活のリズムが乱れてしまい、気分が落ち着かないといった戸惑いも見られました。二ヶ月経った今、ようやく本来の生活リズムを取り戻し、生活を楽しむ余裕が出てきています。

そんななか「チューリップ」では十月から新たに若いメンバーが増え、入居者五人での生活がスタートしました。長年四人のメンバーで過ごしてきた分、新しい人が一緒に生活することを不安に思っている入居者の方もいらっしゃいますし、新しいメンバーも未知の生活に不安でいっぱいの様子でした。世話人はその気持ちを少しでも和らげようと、何度も話を聴き、受け止め、助言し、うまくお互いの仲を取り持てるように現在も試行錯誤の連続です。

生活を共にして一ヶ月。ごこない部分はまだまだあるものの、少しずつ会話を交わしたり、仲良くなろうとランプやDVD観賞に誘ったり、互いの歩み寄りが見られています。これから先、ケアホームでの生活がより楽しく充実したものとなるように、世話人も日々学びながら、力を尽くしていきたいと思えます。

かしま障害者センター

ふとん類リサイクルのモデル事業スタート

10月1日より豊中市上津島において、緊急雇用創出基金の地域人材育成事業として「ふとん類リサイクルを活用した障がい者雇用促進モデル事業」を実施しています。

この事業の目的は「廃棄されるふとん類を回収して、洗浄・乾燥・滅菌し、中材（中綿）を取り出して座布団やマットなどの2次製品にしていくシステムを構造化する」ということと、「その工程で障がい者就業の職域を開発する」ことです。合わせて「障がい者およびその就業」を支援するスタッフの育成を図ることも目的にしています。

実は、人口の約3分の1程度の枚数が不要なふとん類として眠っていると言われていています。一方、自治体によるふとん類の焼却処分は回収の手間も含めると非常にコストがかかり、CO₂の発生も伴います。



事業の取り組みにあたっては、豊中市内のふとん専門のクリーニングをされている事業所と、兵庫県で実際にふとんの中綿をリサイクルして2次製品の販売をしている事業所に技術提供等のご協力をいただいて運営しています。

10月は準備期間としていましたが、11月より本格的に稼働を開始し、緊急雇用事業により新たに来ていただいた支援スタッフ5名と障害のある業務スタッフ6名が日々業務に取り組んでいます。障害のある業務スタッフは今後も数名を採用する予定です。

12月には豊中市内の公共施設で一般家庭からリサイクルに提供していただける回収イベントを実施しました。一つの社会実験的要素の大きな事業ですが、事業としてもスタッフ個々の取り組みとしても有意義なものになればと思っています。



**加島友愛会
採用試験の案内**

1月20日(日)
2月23日(土)

募集要綱はホームページを
ごらんください

- ★リュミエール加島
<http://blogs.yahoo.co.jp/l-kashima>
- ★加島希望の家
<http://blogs.yahoo.co.jp/kibou-blog>
- ★Link・障害者就労支援事業部
<http://blogs.yahoo.co.jp/link-kss>
- ★加寿苑
<http://blogs.yahoo.co.jp/kajuenkuwano>

❖ 後援会の活動にご協力ください ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございました。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。2012年度の会員加入状況を（11月末現在）をお知らせします。個人会員のうち、新規に加入いただきました方は9人にのぼります。

後援会加入状況	団体	18団体	22口	220,000円	
	個人	150人	176口	530,000円	合計 750,000円

2012年度の取り組みとして、法人が運営する各施設のより安全な利用を確保する立場から、加島希望の家・アンダンテ加島・かしま障害者センターにAED（注1）を寄贈しました。また、昨年4月に開所しましたリュミエール加島（介護付有料老人ホーム・小規模多機能型居宅介護事業）へはAED（注1）と軽量ストレッチャー（背上げ式）を寄贈しましたのでご報告いたします。

引き続き、加島友愛会後援会をよろしく願いいたします。

（注1）AED（自動体外式除細動器）とは、心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器です。



振込口座 ゆうちょ銀行 00960-7-48904
加島友愛会後援会

* 見学会のご案内 *

開催日 **1月18日(金)~20日(日)**
時間 **10:00~16:00**

- △見学(居室・食堂・機能訓練室・岩風呂・ひのき風呂)
- △介護ミニ講座
- △マッサージ体験、ランチ試食(無料・要予約)
- △出張デパートがやってくる 合わせてお買い物も
18日(金) 14:00~16:00

**** 今後の見学会予定 ****

2月15日(金) 16日(土) 17日(日)
3月15日(金) 16日(土) 17日(日)

ご予約・お問い合わせ・ご相談

フリーダイヤル 0120-087-322
リュミエール加島
大阪市淀川区加島 4-16-35

見学会開催日以外の見学も随時受け付けています。
ご予約ください。

リュミエール加島では…

岩風呂・ひのき風呂で温泉気分での入浴
専属理学療法士によるリハビリ
専属鍼灸マッサージ師のマッサージ・鍼灸
滋質産直の低農薬有機栽培米のごはん

…等々充実したサービスを提案しております♪
詳細はご見学時に説明させていただきます。



JR東西線加島駅下車北へ徒歩8分
梅田・十三より市バス97号「神崎橋」「加島駅」行き
阪急バス「加島駅」行き「加島西(加島3丁目)」で下車

リュミエール加島

介護付有料老人ホーム

地域密着小規模多機能型居宅介護
(主に、加島・三津屋地域対象)



ご利用料金

介護付有料老人ホーム

Aタイプ (約45㎡)	入居一時金	4,000,000円
	キッチン・ユニットバス装備	
	月額利用料	248,600円
		※好評につき満室
Bタイプ (約20㎡)	入居一時金	1,800,000円
	月額利用料	136,800円

※月額利用料には家賃、管理費(居室の光熱水費含む)、食事代・リネン代(Aタイプは2人入居、A・Bタイプとも30日で計算)が含まれます。

*介護保険自己負担分等は別途

小規模多機能型居宅介護

(デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)

- ・宿泊代
一泊2,000円 リネン代 1セット105円
- ・食事代
朝食/200円 昼食/600円 夕食/600円

*介護保険自己負担分等は別途

体験利用受付中

介護付有料老人ホーム	一泊/5,000円
	(5泊6日まで可能)
小規模デイサービス	昼食・おやつ/700円

インターネットで検索 リュミエール加島

「オアシスナビ」「リュミエール加島のブログ」がご覧になれます。

